



★2月の予定

10日(木)学年末テスト
14日(月)生徒会専門委員会
25日(金)3年生を送る会

★3月の予定

7日(月)実力テスト
9日(水)卒業式予行
10日(木)卒業式
24日(木)修了式
25日(金)～春季休業



★宮っ子アンケートをとりました

来年の職業体験学習(宮っ子チャレンジウィーク)は9月上旬に決定しました。生徒たちに第一回目の希望アンケートを取ったところ、このような結果になりました。今まで、仕事をする意味や、様々な職業の種類について学んできたので、例年よりも選択の幅が広がったように感じます。4月に保護者の方に通知を出し、第2回目の調査をしますのでご家庭でも話題にしていいただければ幸いです。

希望職種ベスト5

- 1位 小学校
- 2位 子ども総合科学館
- 3位 スポーツ用品販売
- 4位 動物園・遊園地・美容
- 5位 幼稚園・保育園

★ハンセン病の偏見や差別(KT)

「間違った情報が偏見の原因」 1/25(火)

かつて、ハンセン病を病んだ方々が強制的に療養所に入所させられたり、医学的に隔離が必要ないと判明してからも様々な差別を受けたりしたことを学習しました。今のコロナ禍に発生した差別にも通じる内容なので、生徒の皆さんは自分のことのように考えることができました。



「患者だけでなく家族も差別を受け続け、とてもつらい思いをしてきたことが悲しい。」Oさん

「遺伝しない病気だとわかってからも子供ができない手術をしていたなんて許せない。」Uさん

「死んでからも故郷に帰れず、差別するなんて人間として許されないことだと思う。」Tさん

「誤った情報は1度流したら消えない。常に情報が正しいか確認するように気を付けたい。」Oさん

「人はわからないものに対して憶測で判断するから差別が生まれるのだと思った。」Sさん

「人は自分より下の人を作って安心したいという差別の心があることが原因だと思った。」Sさん

★冬休み課題

工夫して

きれいにしました

家庭科の冬休み大掃除レポートでは、工夫して家の掃除をした人がたくさんいました。一部をご紹介します。



窓のサッシを小さなスポンジで拭いた



窓を掃除した後に結露防止シートを貼った



換気扇の汚れをアルミホイルで落とした

★オンライン授業を利用してください



先日メールで配信されましたように、宇都宮市教育委員会から新型コロナへの新しい対応として、当面の間、部活動は中止になりました。

引き続き、手洗い・うがいをお願いいたします。

また、体調不良やその他の理由で欠席する場合は、各学年とも毎日オンライン授業を配信していますので、お子様のクロムブックで授業に参加することが可能です。ぜひ、ご活用ください。

*「クラスルーム」の中の「1学 授業配信の部屋」で、1年1組の授業を配信しています。

★お化粧の力

将来、美容関係に進みたいと思っている生徒が多いので、ご紹介します。

私が高齢者の病院に看護師として勤めていた時のことです。ある看護学生が、実習中に認知症の女性患者さんに「メイクセラピーでマニキュアをつける」といった看護計画を立ててきたのです。当時は「メイクセラピー／化粧療法』という言葉すら一般的ではなく、本当に大丈夫なのかと半信半疑に見ていましたが、学生にマニキュアをつけてもらったその患者さんは、学生が帰ったあともずっとずっと綺麗になった自分の爪を眺めていたのです。思わず私は「わあ、とってもキレイですね!」と声をかけました。するとその方は、自分の手を私の方に見せ、「そうですよ、見て!」と、にっこり笑ってくださったのです。彼女の本来もっていた可愛らしさや女性らしさが一気に垣間見えた瞬間でした。

「認知症患者」としてではなく、同じ「女性」として初めて コミュニケーションがとれた気がしました。この出来事をきっかけに、化粧は病気や障害を抱える方たちにとって、最後までその人らしさを大切にできる「ケア」としても有効なのではないかと感じ、さまざまな学びを経て、現在の活動に至ります。

メイクセラピスト・訪問看護師 大平 智祉緒さん

KGK ジャーナル Vol.55-1 より抜粋

「お化粧」と「認知症の方のケア」がどんな関係があるのかな?と最初は思いました。「ケア」というと、日常の衣食住を助けることだと思いがちです。でも、「ケアとしてのお化粧」という仕事は、このように周囲とのコミュニケーションツールになり、その人自身の生き方と深いかわりがあるものかもしれません。美容という仕事はいろいろな可能性を持っていますね。

